

令和6年度 学校評価アンケート結果



保護者の皆様には、アンケートへご協力いただきましてありがとうございました。

アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。皆様から寄せられた声を参考にしながら、よりよい学校づくりに努めて参ります。今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年1月 稲田学園 校長 田中朗裕

保護者アンケート

調査月：令和6年12月

アンケート回収率：114 / 167 （ 68.3% ）

児童・生徒（5 ～9 年）アンケート

調査月：令和6年12月

教職員アンケート

調査月：令和6年12月

地域運営協議会委員アンケート

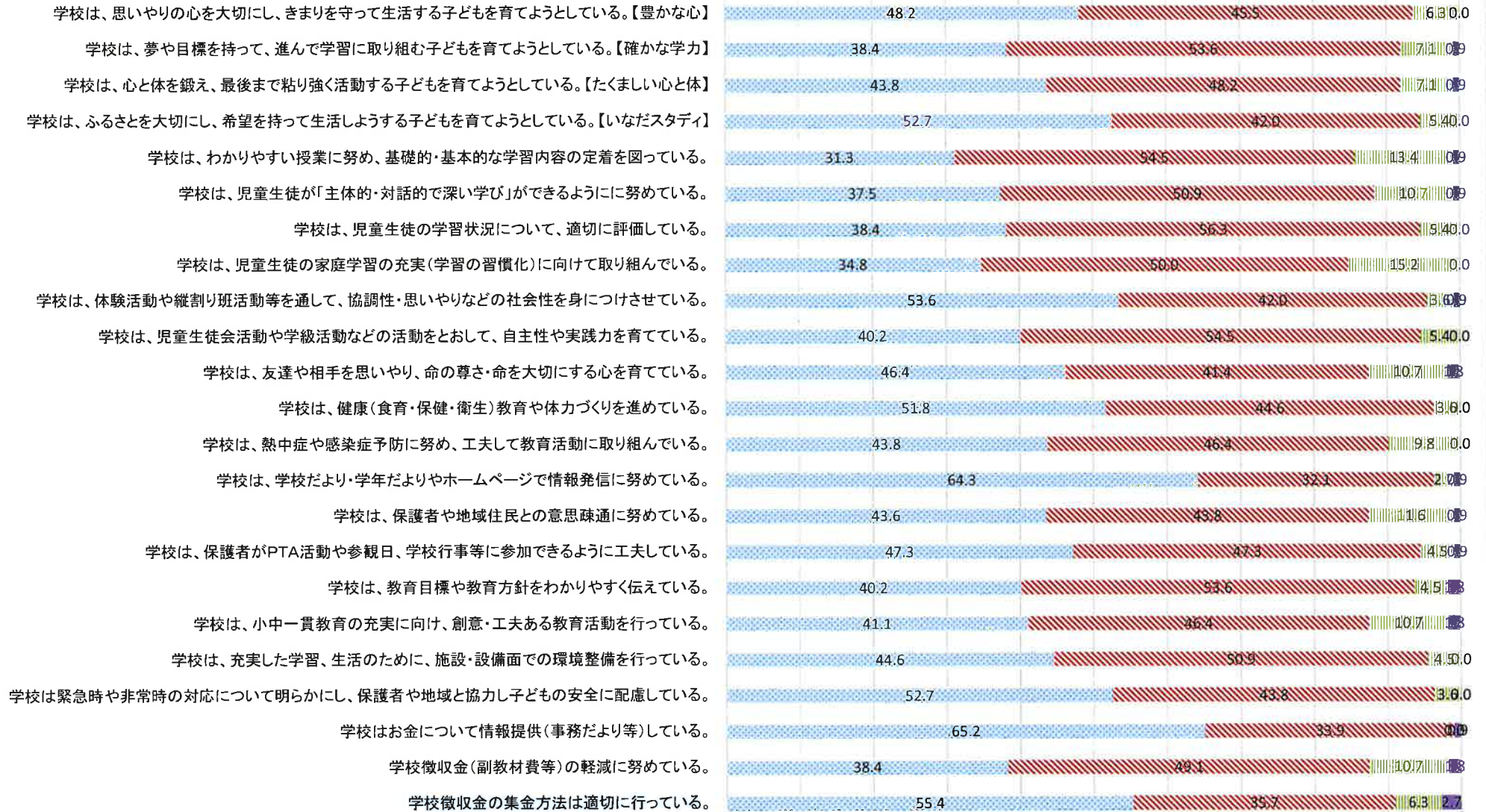
調査月：令和6年12月

須賀川市立義務教育学校 稲田学園

令和6年度 学校評価保護者アンケート結果

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和6年度 学校評価教職員アンケート結果

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

思いやりの心を大切に、きまりを守って生活する子どもを育てようとしている。【豊かな心】

66.7 29.6 3.7 0.0

夢や目標を持って、進んで学習に取り組む子どもを育てようとしている。【確かな学力】

44.4 55.6 0.0 0.0

心と体を鍛え、最後まで粘り強く活動する子どもを育てようとしている。【たくましい心と体】

40.7 51.9 7.4 0.0

ふるさとを愛し、未来に向かって希望を持って生活しようとする子どもを育てようとしている。【いなだスタディ】

44.4 51.9 3.7 0.0

わかりやすい授業に努め、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。

51.9 48.1 0.0 0.0

児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるよう指導の改善に努めている。

33.3 66.7 0.0 0.0

児童生徒の学習状況について、適切に評価している。

63.0 37.0 0.0 0.0

児童生徒の家庭学習の充実(学習の習慣化)に積極的に取り組んでいる。

25.9 66.7 7.4 0.0

体験活動や縦割り班活動等を通して、協調性・思いやりなどの社会性を身につけさせている。

44.4 51.9 3.7 0.0

児童生徒会活動や学級活動などの活動をととして、自主性や実践力を育てている。

44.4 48.1 7.4 0.0

友達や相手を思いやり、命の尊さ・命を大切にすることを育てている。

51.9 48.1 0.0 0.0

健康(食育・保健・衛生)教育や体力づくりを進めている。

59.3 34.3 7.4 0.0

熱中症や感染症予防に努め、工夫して教育活動に取り組んでいる。

63.0 33.3 3.7 0.0

学校だより・学年だよりやホームページで情報発信に努めている。

85.2 11.1 3.7 0.0

保護者や地域住民との意思疎通に努めている。

63.0 37.0 0.0 0.0

保護者がPTA活動や参観日、学校行事等には積極的に参加できるように工夫している。

55.6 40.7 3.7 0.0

学校徴収金の管理・処理を適切に行っている。

85.2 14.8 0.0 0.0

学校徴収金減らす取り組みを行っている。

44.4 48.1 7.4 0.0

校務分掌における振り返り(費用対効果検証等)を行っている。

37.0 44.4 18.5 0.0

教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。

44.4 51.9 3.7 0.0

小中一貫教育の充実に向け、創意・工夫ある教育活動を行っている。

33.3 58.3 7.4 0.0

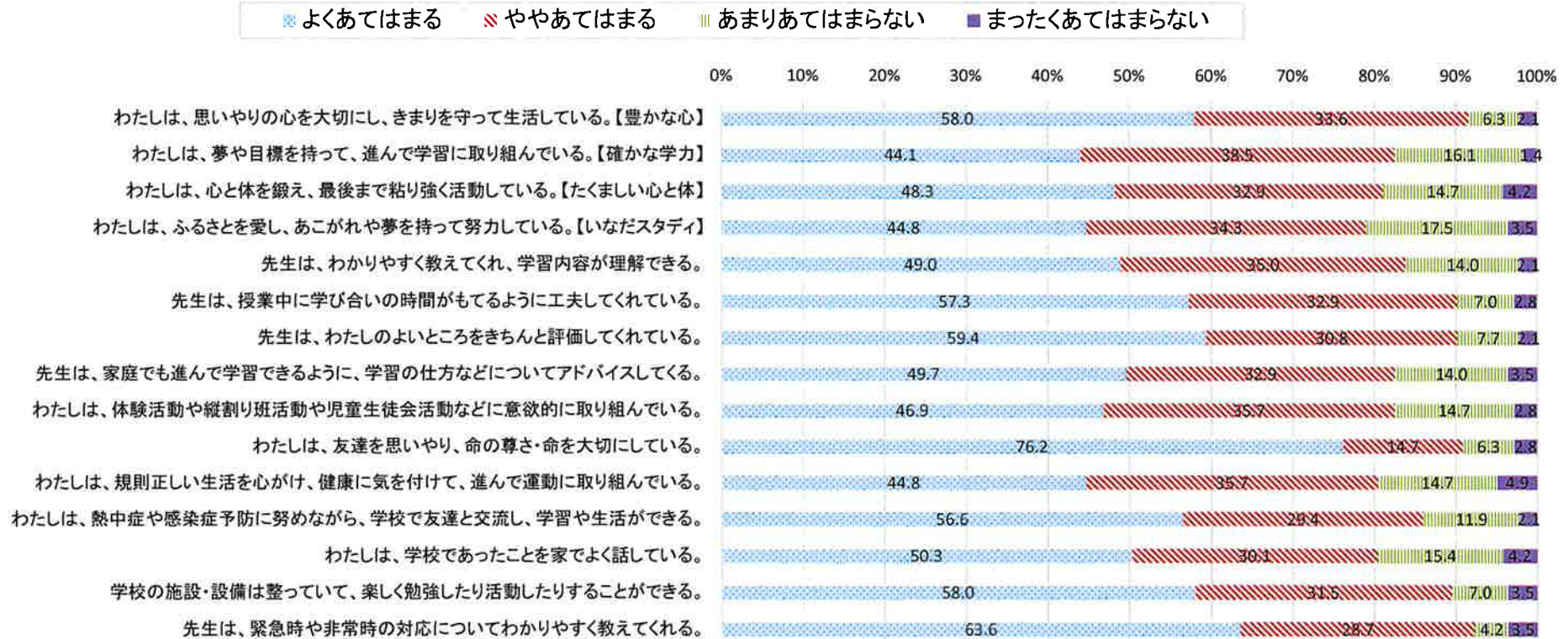
充実した学習、生活のために、施設・設備面での環境整備を行っている。

48.1 48.1 3.7 0.0

緊急時や非常時の対応について明らかにし、保護者や地域と協力し、子どもの安全に配慮している。

70.4 29.6 0.0 0.0

令和6年度 学校生活アンケート結果(5～9年児童・生徒)



保護者アンケートで、A(よくあてはまる)・B(あてはまる)と回答した家庭が90%を超えている項目は23項目中16項目であった。90%に届かなかったのは「わかる・できる授業づくり」「主体的・対話的で深い学び」「家庭学習の充実」「命の尊さ・命を大切にすること」「保護者や地域住民との意思疎通」「小中一貫教育の充実」「学校徴収金の軽減」の7項目であった。全体的には肯定的に評価しているが、須賀川市が推進している「授業と授業研究を第一優先とした学校づくり」の取り組みが、保護者になかなか評価いただけなかったことは反省すべき点である。引き続き、指導方法の工夫と授業改善を行い学習活動の充実に努めていくと共に、保護者にも折に触れて発信していきたい。「家庭学習の充実」は家庭学習の進め方を、学ぶ子どもの姿や家庭の役割をリーフレットにまとめ保護者に配付し、子どもの自己マネジメント力を高めながら家庭学習の充実に繋げたい。「命の尊さ・命を大切にすること」は、3学期に実践する震災から学ぶ会を通して、命の尊さや命を大切にすること育て、児童生徒の変容を発信する等、より一層、保護者に理解いただけるよう努めたい。「保護者や地域住民との意思疎通」は、保護者や地域の皆様からの願いやご意見を伺い、連携できる良好な関係性を形成していくことが重要である。更なる「小中一貫教育の充実」につながるよう、義務教育学校としての特色ある学校づくりの取り組みに関心をもって、良さを実感していただけるよう、広く学校だよりやホームページに掲載するなど、広報活動の充実に努めていかなければならない。「学校徴収金の軽減」は、現在業務の負担軽減に向けた取り組みとして、口座振替に向け準備を進めている。

教職員アンケートで、A(よくあてはまる)・B(あてはまる)と回答した教職員が90%を超えている項目は23項目中22項目であった。教職員は、学校の教育目標から目指す教育像を明確にし、目標を定めて教育活動にあたっていると考えられる。90%に届かなかったのは「校務分掌の振り返り」である。校務多忙の中ではあるが、PDCAサイクルを効果的に機能させながら目標達成に向け実行していきたい。

5～9年生対象のアンケートで、A(よくあてはまる)・B(あてはまる)と回答した児童生徒が90%を超えている項目は15項目中5項目であった。最も低い項目は、「ふるさとを愛し夢への努力」の79%である。評価が高い項目は「緊急時や非常時の対応」92%「思いやりの心、きまりを守る」91%である。ふるさとへの良さを実感し、家庭と地域、学校が連携しながら豊かな体験活動を通して、夢の実現に向け取り組んでいきたい。

令和6年度学校評価アンケートに係る学校に対するご意見・ご希望

稲田学園

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の充実・改善に生かしていきます。

※ 可能な限り、原文のまま記載しています。

1 教職員の対応、学校の雰囲気について

- ・ いつもお世話になっております。先生方におかれましては、細やかな配慮を常にしていただき、いくらお仕事とは言えども感謝しかありません。本当にありがとうございます。
- ・ お世話になっております。子ども達の様子を、いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。多くの先生方が前期課程から後期課程までの様々な場面で関わってくださることが、子ども達の支えになっていると感じております。今後も引き続き、どうぞよろしくお願い致します。
- ・ いつも、子供達の事を考えて下さりありがとうございます。困り事があると、親身になって私達保護者の話も聞いて下さり、心救われています。今後とも、宜しくお願い致します。
- ・ 朝早くから夜遅くまで子ども達の為にいつもありがとうございます。夕方、犬の散歩をしてると下校してる子ども達が『こんにちは』『こんばんは』と挨拶してくれます。すごく気持ちがホッコリします。挨拶ってやっぱり大事ななと稲田の子ども達から再認識させてもらってます。
- ・ いろいろ相談させて頂き、アドバイス頂き助かっています。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 生徒の話をきちんと聞いて、クラスでの、問題はきちんと保護者に説明して頂きたいです。

⇒ 児童生徒の話を真剣に聞き、学校での様子は必要に応じて保護者の方へ説明したり、ご協力いただいたりしながら進めております。内容によっては広くお知らせできないこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

【部活での対応】

- ・ 6年生が次年度入る部活について考える時期になると、「特定の部への入部を制約するような声かけある。」と聞きました。絵を描くのが好きで入る子、学校にはないスポーツのクラブに入っている子、やりたい部活がなく入る子、やってみようと挑戦の気持ちで入る子、入部動機はそれぞれだと思いますが、子供の意志を操作するような言葉は良くないと思います。先生方がそのように考えているのなら、部活そのものがある理由もなくなってしまいます。
- ・ お世話になっております。いつも子供達は目標に向かって日々の部活動の練習に励み、試合の時など自分たちで声を掛け合っている姿が素晴らしいなと思っています。大会の時は緊張やプレッシャーもあると思いますので、顧問の先生からも声を掛けていただければありがたいです。情報共有がうまくいかない時もあるので、子供達の不安や疑問が少しでもなくなるようにコミュニケーションを図っていただければと思います。

⇒ 教師の言動は、児童生徒に大きな影響を与えるということを自覚し、今後、教育活動を進めていくよう再確認します。

児童生徒の不安や疑問を軽減するために、対話を重ねながら信頼関係を築けるよう努めていきます。

2 教育活動の充実について

【授業面】

- ・ クラスの人数が多いのでもう少し勉強に集中出来るような人数にして欲しい。
- ・ 授業の内容を生徒が理解しているか確認しながらの進行をお願いしたい。各生徒の理解力の差はあり先生方も大変だとは思いますが乗り遅れるとその先の授業の理解に苦しんでしまうと感じます。生徒もみんなの前で理解してるかと聞かれても答えづらい場面もあるかと思っています。限られた時間の中での対応大変だとは思いますがお願い申し上げます。

⇒ 学級の人数を変更することは法律上できませんが、学習内容によってはコース別やグループ学習を取り入れ、きめ細やかな指導を行う等、工夫を

していきます。

授業は、一人一人の学習内容の理解度を確認しながら進めるように努めておりますが、1時間の中で全員の理解の度合いを把握することには難しさもありますので、教員がより細やかな把握ができるように、授業内容でわからないところを家庭学習で補充することや、担任や担当教師に個別に質問などしていただけると幸いです。また、家庭学習の様子から、質問等がある場合は学校までご相談ください。

【指定上履き・体操着】

・ 学校指定のシューズは汚れが落ちにくく、今後の成長も考えるとコストが悪いです。体操着の名前もアイロン貼り付けなら、着回しも楽なのですが。この物価高騰のため、ご考慮いただけたら幸いです。個別対応となると、差が出てしまいます。よろしくお願い申し上げます。

⇒ 学校指定のシューズは、けが防止のために体育館での授業にも兼用できるようなものになっています。体操着については、譲り受けたものを着回していただいても大丈夫です。機能性やデザイン、価格、名前については次年度以降、検討させていただきます。

【秋華祭・松明あかし】

・ 秋華祭は、前期課程も学年発表を実施してほしいのと松明あかしは、保護者の腕章などを作って頂き、五老山と一緒に登れるようにして欲しいです。

⇒ 秋華祭は、後期課程を中心とした半日行事として運営しています。前期課程の子どもたちの負担が大きくならないよう、開催の期日や方法についても併せて次年度に向けて検討中です。

松明あかしの観覧については、市の交流観光課とも連携しながらよりよい形を模索していきます。

【給食】

- ・ 来月の献立表にチャーハンの事が載っていて、希望を叶えようとして下さる姿にとっても嬉しく思いました。子供達、今から楽しみです！
- ・ 生徒の要望を給食の献立に採用してくださったとお伺いしました。ありがとうございます。
- ・ 材料費高騰で大変かと思いますが、給食の量と質の改善を望みます。

⇒ 材料費高騰に伴い、市内の学校でも給食費の値上げを余儀なくされていますが、本校では様々な工夫により比較的安価に抑えられている現状です。
来年度もできる限り給食の量や質を保ちながら給食を提供できるように努めてまいります。質と量の確保のためにも値上げせざるを得ないのが現状です。現在、給食の回数や給食費について検討しているところですので、決まりましたら改めてお知らせします。

【インターネット・SNS】

- ・ 潤滑な学校経営を行うために、いくら先生方が努めてくれても、家庭教育が基本です。本来、家庭で教えるべきインターネットや SNS との関わり方を授業参観で取り組んで頂き感謝です。

【集金】

- ・ 集金日の日程を以前のように2日間にしてもらえると助かります。
- ・ 集金は大きいお金を持たせるのが心配なので、引き落としだとありがたいです。

⇒ 来年度以降の集金については、口座振替に向けて調整をはじめています。

【お願い】

- ・ 今まで学校便りでの校長先生のコラムが楽しみでしたが、今年度はそれが無く、なかなかお人柄に触れる機会もありませんので残念です。
- ・ 学校行事の際で配布するプリント(お便り)は、なるべく早く配布して欲しい。例えば授業参観など。

⇒ 学校便りは、子どもたちの活躍をできる限りお伝えしたいと思っておりますが、ご意見を参考にしながらより一層紙面の充実に向けて工夫をしながら進めていきたいと思っております。

学校行事の案内はできる限り、早めの配布・配信に努めていきます。

令和6年度 稲田学園地域運営協議会委員による学校評価結果【R6. 12】（回答数12／13）

No.	観 点	内 容	平均値／4.0
1	「小中一貫教育」須賀川モデルの推進（幼・小・中連携）	○ 学校は、地域運営協議会を計画的に実施し、小中一貫教育を積極的に推進している。	3.6
2	安全・安心対策の充実	○ 学校は、児童・生徒の安全・安心を第一に考え、健康・安全に関する基本的な生活習慣を育成し、定着を図る取り組みをしている。	3.6
3	特別支援教育の推進	○ 学校は、個に応じた指導計画・支援計画に基づいて共通理解を図り、特別支援教育の充実に努めている。	3.6
4	豊かな心の育成	○ 学校は、いじめをなくすために努め、思いやりのある児童・生徒を育てる取り組みを行っている。	3.3
5	確かな学力の育成	○ 学校は、「わかる・できる」授業を目指し、授業の質的改善と学力向上に努めている。	3.4
6	健やかな体の育成	○ 学校は、健やかな体を育成することを目指し、めあて（目標）を持たせながら運動に取り組みせ、体力や運動技能の向上を図っている。	3.3
7	教職員の資質・指導力の向上	○ 学校は、授業研究等とおして指導力の向上に努めるとともに、不祥事防止に積極的に取り組んでいる。	3.7
8	地域とともにある学校	○ 学校は、学校だよりやホームページ等で校外に情報発信するとともに、地域とともにある学校をつくろうとしている。	3.8
平均値／4.0			3.5

令和6年度 稲田学園地域運営協議会委員による学校評価結果【R6. 12】（回答数12／13）



※ 可能な限り、原文のまま掲載しています。

＜小中一貫教育義務教育学校としての取り組み＞

- 義務教育学校の強みを生かして地域に保護者にその良さをどんどん発信していったほしい。現状維持は後退。

＜安全・安心対策の充実＞

- 管理職のみならず、全職員が自覚し共通実践をしているか、常に確認が必要である。

＜特別支援教育の推進＞

- 通級指導教室、来年こそ設立を願う。

＜確かな学力の育成＞

- 互見授業はとても有効だと思う。
- 教員である以上、よりよい授業作りをめざし精進してほしい。

＜健やかな体の育成＞

- 陸上の練習は校庭を走るだけでなく、タイムを計ったりインターバルの練習をしたりしてほしい。
- 少人数でも行える部活動（体育系）を検討してほしい。例）フットサル等
- 学級全体で行間を使ってマラソン（持久走・縄跳び）を行う。地域に分かるような取り組みが必要。

＜地域とともにある学校＞

- 学校HPに、リアルタイムで行事の記事がUPされていて素晴らしい。

＜学校経営や保護者の学校評価等についてのご意見＞

- 保護者アンケートの回答率の7割未満はとても気になる。
- 学校運営については、最善を尽くしていると思う。その反面、教員に負担がかかっているか心配。精神的な負担を個人で対応するのではなく、全体で問題点を共有して支援できる体制を構築する必要がある。（体調を崩す教師が増加傾向にある）

- 保護者に対しては、郷土の歴史を取り上げた資料を配付するか、または稲田コミセンと共同で歴史あるところを現地案内する事業に取り組んでいただき、認識を高めることも考えられる。(親が認識すれば、子どもにも伝わると思う)

<その他>

- 情報発信体制を構築し発信続けてほしい。
- 一人一人に寄り添った支援をされている。
- 毎日、お疲れ様です。体調をくずさないようにしてください。
- 不祥事の未然防止は引き続きお努め頂きたい。
- 働き方改革の推進が古き良き伝統、稲田学園の良さを消滅させることのないよう留意いただきたい。先生方が楽をするためではなく、主役は子ども、子どもたちのために汗をかく職員集団であってほしいと願う。
- 子どもたちの活動が活発であり、成果も素晴らしく期待している。さらにいえば、子どもたちのモチベーションを高めるために、多くの達成感や成功体験を得る機会が必要である思う。

不登校の子どもに対しては、学校生活が楽しく感じられる環境を構築する必要があると思う。(孤立させない教育環境の整備)

子どもたちをグループに分けて、議題を出して討論し合う授業の機会も必要と考えられる。個人の考え方や表現の違いを感じるにより、お互い切磋琢磨することに通じると思う。(読書量の違いにより、表現力の差が明確である)

- 文章が好きで書く子どもの割合が過去最低になっている。それは読書する子どもの数が年々減少傾向にあることに起因しているのではないかと思う。学校図書館の利用を促進するための創意工夫が必要である。